

新たな歴史を創る生徒会！

今年度、生徒会は年間テーマを「CHANGE」と決めて、今までの伝統を大切にしつつ、新たな歴史を創る、との意気込みで、北原生徒会長を中心に活動をスタートさせました。

そして、「こんな生徒が集う学校にしよう」と、目指す姿が具体的にわかる形でみんなに示してくれました。

一学期が終わりますが、一人ひとりが、生徒総会で確認した目指す姿に近づいている

のかどうなのかを確認してみよう。そして、一学期活動しての成果と課題を明らかにして、一学期の具体的な目標と活動を考えてみましょう。その行動の中に、「自ら考え、行動する生徒になるろう」の姿があるのだと思います。



鹿北中学校生徒会年間テーマ

CHANGE

～自由に発想、個性を生かして協力しよう～

こんな生徒が集う学校にしよう！

- 一人ひとりの個性が尊重され、大切にされる学校にしよう
- 当たり前のこと（あいさつ・服装・無言掃除）ができる生徒になろう
- 自ら考え、行動する生徒になろう（自発的な活動）

〈3年生、城北高校一日体験入学〉

七月十二日（火）、城北高校にて三年生の一体験入学が行われました。開校式では、生徒会長や本校卒業生が、歓迎の言葉や各科の紹介をしてくださいました。

体験授業では、普通科特進クラス、調理科、看護科、医療福祉科、普通科スポーツ科学コースの授業を体験させていただきました。さらに昼食も調理科の方々が作ってくださったハヤシライスをいただきました。

どの科の授業も、先生方や高校生のみなさんがやさしく教えてくださり、とても充実した一日となりました。

竹原校長先生からは、「人生の土台をつくるのが高校、高校にはたくさんの方がつまっている。高校生活は決して楽ではないが、楽しさがたくさんつまっている。みんな勉強やスポーツに一生懸命頑張っている。高校には希望がある。希望があるというのは、自分が変われるということ。高校生活を通して、自分を大きく変えてほしい。」との熱い言葉をいただきました。鹿北中のために、心温まる充実した時間を過ごしてくださいました城北高校の先生方、生徒のみなさん、ありがとうございました。



生徒会の取り組み

熊本地震募金活動



WAKUWAKU
さるきタイム



鹿北カップ（ビーチバレーボール大会）

季節風

2016. 7. 20

NO.13

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

◇一学期を振り返って◇

四月。新入生二十八名を迎え、総勢八十一名で一学期がスタートしました。その矢先熊本地震があり、県内各地に大きな被害をもたらしました。そんな中、生徒会がいち早く募金活動を行ってくれました。

五月は、一学期最大の行事、体育大会がありました。大会テーマ「限界突破」のもと、各団の団長を中心に、一生懸命な姿が印象に残りました。みんなで一つのものを創り上げることは、大変だけど、その分、大きな感動を得ることができたことを学びました。来校された方々も、口々に「すばらしいですね」



とおっしゃってくださいました。

六月。一年生は初めての定期テスト（期末テスト）を経験しました。

六月最大の行事は、何と言

弓道部、全国大会6位入賞

7月18日（月）、日本武道館にて、全日本少年少女弓道錬成大会が行われました。本校からは男子チームがこの大会に出場し、159チームが出場する中、6位入賞（敢闘賞）という見事な成績を勝ち取ることができました。本当におめでとうございます。

また、本校男子チームは、選手宣誓を任せられ、1000人以上の方々注目する中、被災地である熊本の中学生として、元気な姿を全国の方々に見てもらうことができました。弓道部は、この後も県中体連大会、佐賀で行われる九州大会への出場が決まっています。全国大会の経験を生かして、さらなる成長を期待します。



つても、山鹿市中体連夏季大会です。今までの練習の総決算の日を迎えました。どの部も、力の限り競技する姿から、この大会にかける思いが伝わってきました。思うような結果を手にするのができず、悔し涙を流した人もいましたが、その涙は必ず一人ひとりの心の成長につながるはずですよ。

▽なかまの存在△

一学期の大きな行事を通して感じたことは、やはり「なかま」の存在の大きさ



です。体育大会も中体連も、なかまと目標を共有し、励まし合いながら、きついつとも乗り越えてきました。だからこそ、その先にある大きな喜びや感動、時には



悔しさを経験できたのだと思います。

人間関係は、何かと面倒であり、やっかいなものです。しかし、「人は人の中で成長する」との言葉があるように、人がいるから、なかまがいるからこそ、一人では味わえない感動があるのだと思います。

☆鹿北中がめざす方向性☆

今年度、鹿北中学校では新たな取組を始めたいです。一つ目は、**コミュニティスクール**への移行です。そして、もう一つは、国の指定を受けてこれから二年間かけて**校種間連携(小・中連携)**の研究を始めたことです。この二つの取組を進めることで、鹿北の子供たちが、健全に成長していく教育環境をさらに整えたいと考えています。

「コミュニティスクールとは」

「コミュニティスクールに指定された学校には、「**学校運営協議会**」が設置されます。教育委員会から任命された運営協議会の委員(保護者・地域の皆さまが、学校運営の基本方針を承認したり、学校の教育活動に意見を述べたりすることで、一定の権限と責任をもって学校教育活動に参画します。また、学校や地域の課題解決に向けての協議も行います。

学校と地域の皆さまとが力を合わせるることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子供たちの成長を支えていく、このような学校づくりを進めていくことがコミュニティスクールの一番のねらいです。鹿北中は、地域との連携をさらに深めていきます。

学校運営協議会委員の皆さま

- | | |
|--------|--------------|
| 齋藤 順孝 | (元小学校校長) |
| 中川 和夫 | (鹿北区長会長) |
| 竹熊 榮子 | (主任児童員) |
| 北原 チツ | (市職員) |
| 島北 皎誓 | (元山鹿市教育委員) |
| 立山 憲介 | (元鹿北総合支所長) |
| 信末 知也 | (鹿北駐在所) |
| 中嶋 勇樹 | (社会福祉協議会) |
| 中満 恭二 | (元体育指導員) |
| 陶山 えつ子 | (元鹿北健康施設所代表) |

- | | |
|-------|--------------|
| 稲葉 英徳 | (鹿北小学校PTA会長) |
| 梶山 竜太 | (鹿北中学校PTA会長) |
| 瀬口 英子 | (保育園代表) |
- ※ 敬称略

校種間連携(小・中連携)

鹿北小学校と鹿北中学校は国の指定を受け小・中連携を進めるため、二年間の研究を始めました。小・中が連携を深めることで、九年間の連続した「学び」をつくることができ、また、中一ギャップの解消にもつながると考えています。

現在、力を入れているのは次の五つの分野での連携です。



文部科学省調査官を交えての小・中合同の研究会を開催 (七月八日 鹿北小にて)

- ① 学校行事や様々な地域行事への参加
 - ② 学力向上・外国語活動の充実
 - ③ 自治力育成となかまづくり推進
 - ④ 体力向上の取組
 - ⑤ 特別支援教育の充実
- 研究の最大の目的は、子供たちが成長するための教育環境を整えていくことです。そのために、**鹿北中は鹿北小との連携をさらに深めていきます。**

吹奏楽部、地域での演奏活動

吹奏楽部は、七月十六日(土)あやすぎ荘にて演奏会を行いました。社会福祉協議会での演奏活動に次いで二回目の地域での演奏会です。たくさんの高齢者の方々に、すばらしい音楽を届けることができました。演奏や歌声を聴きながら涙を流されている方もおられました。



吹奏楽部のほんの小さな取組は、私たちが思う以上に、地域の方々に大きなものを届けることができているようです。

地域の方々に「元気を届けたい」との思いから始まった演奏会。来週も再来週もまだまだ続きます。そして、たくさんの方々の元気をお届けしたいと思っています。

演奏会の予定

- 七月二十四日(日) 小川内サロン会
- 七月三十日(土) 道の駅かほく
- 八月六日(土) 広見の星空まつり
- 八月十三日(土) 支援センター(鹿北市民セ)

ガンバレ3年生！ 夏に勝つ！

今年の夏休みは、3年生にとっては特別な夏休み。そんな3年生に、気持ちがゆるんだときに、気合いを入れ直す言葉を贈ります。全国には、約100万人の中学3年生がいます。充実した夏休みを過ごしてほしいと思います

- 今日歩くことを止めれば、明日は走るようになる。
- 転んだ人を笑うな。彼は歩こうとしたから転んだんだ。
- 夢は逃げない。逃げるのはいつも自分だ。
- 苦しいから逃げるのではない 逃げるから苦しいのだ。
- 努力した者が全て報われるとは限らない。

しかし、成功した者は皆努力している！

- 努力の前に成功がくるのは、辞書の中だけ。
- 明日からがんばるんじゃない。
今日をがんばり始めた者にも明日がくるんだよ！
- 今居眠りすれば、あなたは夢をみる。
今学習すれば、あなたは夢が叶う。
- 一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る、
いい加減だと言い訳が出る。
- 未来が見えないのは暗いからではない。まぶしすぎるからだ。
- あきらめたらそこで試合終了ですよ…！

◇夏休みを有意義に◇

○朝が勝負！

早く起きると、気持ちもすっきりして、やる気も出るものです。逆に、寝坊すると何となく一日がだらだらしてしまうものです。ぜひ、早起きにチャレンジしよう。

また、朝起きた時に、今日やること、がはっきり決まっていることが大事です。朝はとにかくぐっすり寝ない。

○決まった時間に勉強！

脳にいつもの学習時間をインプットすることが大切です。つまり、習慣化させることです。最初はきついつと感じるけれど、だんだんと脳が慣れてきます。そうすれば、きつさはなくなってきます。脳をコントロールするのは自分身です。

東大合格者の多くは、一年間生活リズムを崩さなかったというのは有名な話です。

